

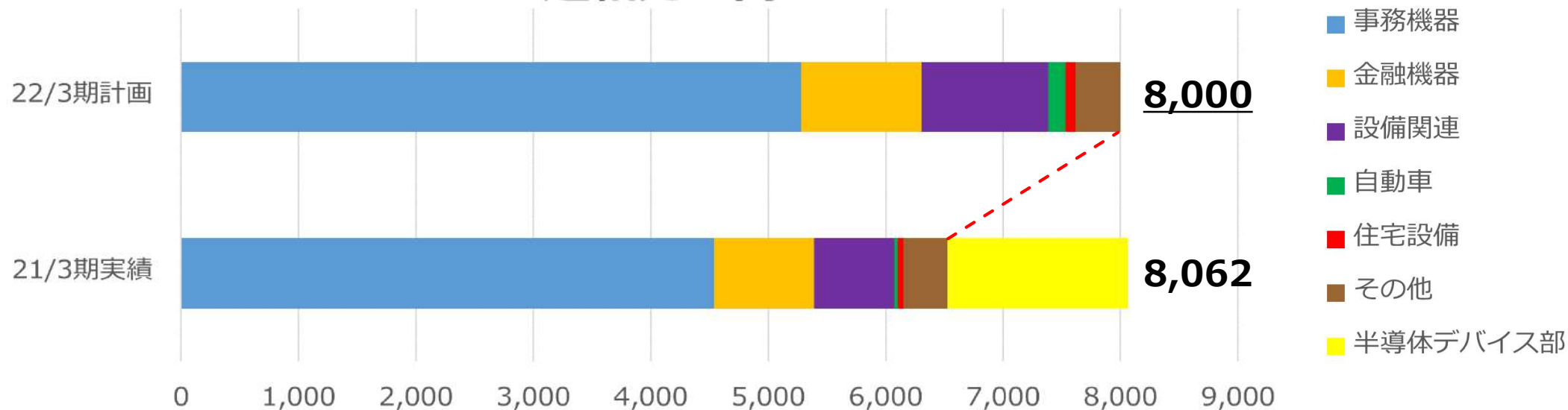
コンポーネント事業



※コンポーネント事業の半導体デバイスは、2021年4月1日より半導体デバイス部として独立

(単位：百万円)

連結売上高



21/3期 連結売上高概況、重点施策進捗

- 前期比14.1%減
- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響に因り主力の■事務機器市場向け製品の売上減
- 精密機構部品の■自動車市場での採用増加
- 高圧市場の■医療関係は増加

22/3期 連結売上高計画

80億円（精密機構部品）

22/3期 重点施策計画

- ■事務機器・■金融機器の深耕開拓及び原価低減
- ■設備関連市場への供給体制整備
- ■自動車市場への本格参入（品質体制構築）

コンポーネント事業 21/3期重点施策進捗詳細（精密機構部品）



▶ 新市場（■自動車市場）での採用

- ・ターゲット市場として取り組んできた自動車市場での引合い案件増加。安全機構のニーズが高まる中で、長年培った摩擦制御技術が評価され、121期より本格的に参入を開始
- ・自動車市場に適合した生産体制・品質体制の構築を図る一環で、IATF※認証取得へ向けた活動を推進



2段式トルクリミッタ



小型高トルクリミッタ

▶ 海外市場へのマーケティング活動強化

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により人的移動が困難な状況の中で、WEB展示会などデジタルマーケティングを活用し欧州・米国・中国を中心とした海外市場への拡販活動に注力
- ・併せて、エリアパートナー戦略により、現地商社を活用した提案活動を強化し新規顧客を獲得

※ IATF (International Automotive Task Force;国際自動車産業特別委員会)

コンポーネント事業

22/3期重点施策計画詳細（精密機構部品）



➤ 既存市場の深耕開拓 及び 原価低減による利益改善

- ・ ■ 事務機器市場では、深耕開拓と小型ローコスト製品による低速領域機種への新規参入による売上拡大
- ・ ■ 金融機器市場では、セルフレジなど金融機器関連需要の拡がりに対応し、複合製品の提案型営業による顧客の囲い込み
- ・ ■ 設備関連では、世界的な半導体需要の急増に伴う受注増加に対応し、サプライチェーンの再構築 及び 生産体制の強化
- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響で売上が大きく落ち込んだ中で取り組んだ損益改善施策の確実な実施による利益向上

➤ 新市場（■自動車市場）本格参入に向けた品質・生産体制を構築

- ・ 自動車用製品の採用拡大に向け、IATF認証取得（2022年目標）を含む自動車業界に適合した品質体制の構築
また、生産体制を早期に構築完了し、日程遅延なくオンタイム化
- ・ 採用実績を元に国内／外の横展開による売上拡大



コンポーネント事業 21/3期重点施策進捗詳細（半導体デバイス）

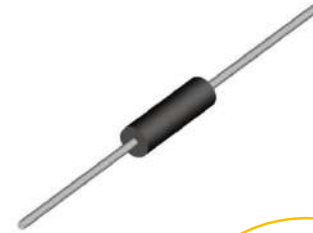


➤ 高圧ダイオード拡販

医療X線装置向けに新製品を投入

据え置き型X線装置向けが中心であった従来品に対し、**可搬型小型**X線装置向けを開発

MD15FP3



8KV VA品
15KV 大電流品も開発中

NEW

MD15EP06



小径化(30%ダウン)
小電流化
コストダウン

➤ 車載向けマーケティング強化

ハイブリット車DC/DCコンバータへ搭載され続けるショットキーバリアダイオードモジュールは、抜群の品質安定実績をもって参入活動強化。国産車のみならず**中国産EV向け**の引合いあり

EV 電気自動車
Electric Vehicle



SOT-227



北海道オリジン(株)

半導体製造50年の実績